

◎ 第12回 通常総会を開催

◎ 経済と中小企業の
活性化に資する税制改正を!
令和7年度税制改正要望(抜粋)

◎ nice work
ドアはいつもオープン
文化を翻訳してコミュニケーション
(有)どあノブ取締役社長 小林 花代

◎ 金沢のならわし・飾り物⑤
加賀獅子頭

ほうじん 金沢

広報

第235号

令和6年

10月20日発行



第十二回通常総会を開催

— 会員増強、福利厚生制度の普及に注力 —

五月二十九日(水)ANAクラウンプラザホテル金沢にて、第十二回通常総会が行われました。本年度は会員企業百八十一社(委任状二千七十五社)が参加し、本塚浩二金沢税務署長をはじめ多数のご来賓を迎えて盛大に開催されました。

進行は青年部副部会長の吉谷哲朗氏の司会により行われ、会員増強及び福利厚生制度の普及に好成績を収めた団体・支部・功労者に感謝状が贈呈されたほか、令和五年度中に開催された定例研修会への参加優秀社として二十社に精勤賞が授与されました。



審議の前に挨拶を行う鶴山会長。

委任状を含む2256社が参加。

公益社団法人 金沢法人会 第12回通常総会



また、鶴山市会長を議長として次の議案について審議が行われました。

【審議事項】

第一号議案 令和五年度収支決算報告

(案)承認の件

— 監査報告 —

第二号議案 役員補充選任(案)承認の件

【報告議案】

一、令和五年度事業報告の件

二、令和六年度事業計画及び同収支予算書の件

全ての議案が満場一致で可決された後、鶴山市市長から、引き続き会員増強及び福利厚生制度の普及に注力しつつ、活性化を推し進める方針が示されました。なお総会後には、会員企業百七十社が参加して懇親会が盛大に開催されました。

受賞者の皆さん

【会員増強功労支部・団体】
優秀賞

AI G 損害保険株式会社 金沢支店
津幡支部・木曳野支部・青年部会

※年間十社以上

敢闘賞

長町支部・材木味噌蔵支部・内灘支部
米丸支部・金石 大野支部・安原支部
大同生命保険株式会社 金沢支社
女性部会

※年間五社以上

努力賞

粟崎支部・長田支部・富樫支部
戸板支部

※年間三社以上

【会員増強功労者】

荒木 章・木村 道明・小鍛冶 榮
高橋 玲子・山浦 伯之

※年間五社以上、五十首順

新任役員

水内 健之

以上、敬称略

会員増強等で好成績を収めた方々に感謝状が贈られた。



新会員紹介

(令和六年二月一日から)

六月三十日まで)

◆ 法人名 ◆ 代表者名

【法人会員】

(株)ウォーターワークス

上田 幸平

(株)先導社

操川 一郎

(有)岡本アルミガラス

吉野 茂樹

(同)タイパース・システム

東海林次夫

(株)MKビルサービス

森田 健

ANK DESIGN JAPAN(同)

杉山 竜太

(株)浜野工業

浜野 健太郎

(株)ASコンサルティングラボ

堀 晃子

(株)金沢ギヤロッツ

三谷和登志

(株)日新

池勝 国博

(株)ハルヤマ

春山由起夫

(社)地域創生マネジメント

稲垣 渉

(株)K.A.イマネジメント

浅田 章大

(有)津田水引折型

津田 六佑

(有)スクープ

堀口 和男

サンメッセ(株)金沢支店

田中 祐治

(株)アンバーバス

田口 大

(株)ライフイズアート

薛 良平

(株)SHIMAZU北陸営業所

島津 幸弘

【個人会員】

BAR KAWAUSO

上室 篤音

ナイトインバーテッセジエー

川尻 学志

リパース

中野 悠汰

中野内装

中野 悠汰

漫画と歩いて五十七年

講師／漫画家 永井豪氏

総会に先立って記念講演会が行われました。講師の永井豪氏は輪島生まれ。令和六年能登半島地震で起きた大規模火災により、輪島朝市通りの近くにあった永井豪記念館も焼失しました。漫画家の世界に飛び込んで六十年、デビューから五十七年という長い時を漫画とだけ過ごしてきたという永井氏ですが故郷への思いは強く、一時的な義援金だけでなく息の長い支援ができないかを模索してこられました。



宝飾デザイナーとのコラボで、輪島塗で作成したデビルマンのパネルに宝石を埋め込んで販売、売上の一部を被災地に寄付する計画だと永井氏。

その永井氏が輪島で過ごしたのは小学校一年生の夏休みまでで、漫画体験の始まりは幼稚園に入る前に買った手塚治虫先生の作品でした。その後、まだ大空襲の爪跡が残る東京へ。どこまでも平たく何もない土地でしたが、書店、古本屋、さらに貸本屋と漫画にのめり込める環境だけはあったといいます。読めば自分でも描きたくなり、小学生の頃から「漫画家になる」と宣言。ただただ漫画を描いていられたら幸せだったとおっしゃいます。

漫画に専念するため大学受験もやめて始めた出版社に作品を持ち込む生活、そして身を削るような石ノ森章太郎先生のアシスタント時代を経て、想定していなかったギャグ漫画でのデビュー。その作品を見た赤塚不二夫先生からの一喝、その酷評を逆手にとって生まれた「ハレンチ学園」の大ヒットとPTAによる不買運動。知名度は上がったものの永井氏が本来描きたかったSFのストーリー漫画になかなか近づけないまま、講演の時間が過ぎてしまいました。

その後、永井氏が生み出したマジングァーゼット、デビルマンが世界中で大ヒット！マジングァーゼットはスペインで視聴率七〇％、グレンダイザーはフランスで瞬間視聴率一〇〇％と驚異的な数字を記録しました。世界各国のイベントに引っ張りだこになった永井氏は、出向いた先々で漫画アニメの普及にも努めてこられました。そして気が付けば今、世

界中のアニメファンが日本に押しかけてくる状況になっています。

講演会当日、県庁で石川県観光大使の委嘱状を受け取った永井氏は、馳知事から「アニメの人気を利用して能登の復興につなげていきたいね。アニメファンを呼び込むための作戦を考えましょう」と声をかけられたといいます。永井

北陸税務連絡協議会定期総会と金沢国税局幹部職員との懇談会を開催

令和六年九月二十日(金)、KKRホテル金沢において第二十回北陸税務連絡協議会定期総会が開催され、北陸法人会連合会を代表して鶴山庄市会長と村井啓祐専務理事が出席しました。

定期総会では、令和六年度の事業計画として①税務当局と各構成団体相互の連携協調、②インボイス制度の円滑な定着に向けての支援、③電子納税推進プロジェクトに対する協力、④租税教育に関する支援などが承認されました。

定期総会後に開催された金沢国税局幹部職員との懇談会では、長内昌三国税局長から、北陸税務連絡協議会の構成団体が行った各種広報活動やインボイス制度の円滑な定着に向けての支援などについて感謝が述べられました。

これに対し鶴山会長は、税に関する周知・広報について北陸税務連絡協議

氏が生み出してきたキャラクターたちが石川・能登の心強い伴走者となってくれば、復興のスピードも上がるのではないのでしょうか。

総会議案書(情報公開)の閲覧は
金沢法人会ホームページまで
<https://kanazawa-houjinkai.or.jp/>



会の構成団体が相互に連携して活動を行い、税務当局との協調関係をより一層深めていきたいと述べました。また岡野泰大総務部長、森谷義光課税部長、端秀樹徴収部長から、広報施策、インボイス制度の円滑な定着、ダイレクト納付などについて説明と協力依頼があり、活発な意見交換が行われました。

金沢税務署長着任のご挨拶

事業者のデジタル化促進を新たな柱に 税務行政のDXを進めてまいります



金沢税務署長
酒井 義久

酒井 義久(さかい よしひさ)署長の略歴

- 昭和58年4月 金沢国税局総務部総務課(採用)
- 平成24年7月 金沢国税局総務部人事第二課課長補佐
- 26年7月 富山税務署特別国税調査官(総合調査担当)
- 27年7月 東淀川税務署副署長
- 29年7月 福井税務署特別国税調査官(総合調査担当)
- 30年7月 金沢国税局課税部消費税課長
- 令和元年7月 金沢国税局総務部企画課長
- 2年7月 三国税務署長
- 4年7月 金沢国税局徴収部管理運営課長
- 5年7月 金沢国税局総務部次長
- 6年7月 金沢税務署長(現職)

この度の人事異動により、金沢税務署長を拝命しました酒井でございます。

公益社団法人金沢法人会の鶴山会長をはじめとして、会員の皆様方におかれましては、平素より会活動を通じて、税務行政の円滑な運営に對しまして深い御理解と多大な御支援を賜り、本誌をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

これまで金沢税務署と金沢法人会が築いてまいりました信頼関係を礎とし、皆様方との意思疎通を図りながら、職務を遂行してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

金沢法人会におかれましては、「税のオピニオンリーダー」として、「税」に関する活動のほか、公益社団法人として公益性に軸足を置きながら各事業に活発に取り組んでおられます。特に、次代を担う子供たちに租税の意義や役割を正しく学んでもらうための「租税教室」への講師派遣のほか、「学童教育用図書」購入費用の寄贈をはじめとする地域社会貢献活動には、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

さて、当局においては、昨年六月に「税務行政のデジタル・トランスフォー

メーション」税務行政の将来像二〇二三」を公表し、これまでの「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収事務の高度化等」に「事業者のデジタル化促進」を新たな柱として加え、三つの柱に基づいて進めていくことを示しました。今年度は、この「事業者のデジタル

化促進」についても積極的に情報発信を行い、国税に関するデジタル関係施策の網羅的分かりやすい周知・広報や、関係団体等とも連携・協力したデ

ジタル化の機運醸成など、事業者のデジタル化を促進していくこととしておりますので御協力をお願いいたします。また御承知のとおり、昨年十月から実施されましたインボイス制度につきましても、制度に不慣れな方、未だインボイスの登録事業者としての選択を迷われている方もいらっしゃると思っておりますので、そのような方々にも丁寧に説明を行うことで制度の定着に向けて柔軟な対応を心がけていきたいと考えております。

会員の皆様方におかれましても、インボイス制度の定着に向けた取組に対し、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人金沢法人会の益々の御発展と会員企業の御繁栄を祈念いたしまして着任の挨拶といたします。

金沢税務署法人関係職員 (令和6年7月10日現在)

署長	酒井 義久	副署長	長多 央
副署長	谷口 英二	副署長	清水 秀徳
副署長	川原 誠	副署長	山崎 智彦
筆頭特別国税調査官(法人担当)	松永 清史	特別国税調査官(法人担当)	高田 徹
特別国税調査官(法人担当)	杉森 幸恵	特別国税調査官(法人担当)	永坂 一雄
特別国税調査官(法人担当)	梅岸 大樹	特別国税調査官(源泉担当)	森田 耕次
特別国税調査官(源泉担当)	山形 裕美	法人課税第1部門 統括国税調査官	柳田 泰子
法人課税第2部門 統括国税調査官	秋葉 慎一	法人課税第2部門 統括国税調査官	及川 貴行
法人課税第3部門 統括国税調査官	青山 友和	法人課税第3部門 統括国税調査官	大野 敏治
法人課税第4部門 統括国税調査官	向嶋 治樹	法人課税第4部門 統括国税調査官	木島 正明
法人課税第5部門 統括国税調査官	玉井 隆志	法人課税第5部門 統括国税調査官	原 由美
法人課税第6部門 統括国税調査官	花見 憲一	法人課税第6部門 統括国税調査官	
法人課税第7部門 統括国税調査官		情報技術専門官(法人担当)	
情報技術専門官(法人担当)		国際税務専門官(法人担当)	
国際税務専門官(法人担当)		特別調査情報官	
特別調査情報官		審理専門官(法人担当)	
審理専門官(法人担当)		審理専門官(源泉担当)	
審理専門官(源泉担当)		法人課税部門 連絡調整官	
法人課税部門 連絡調整官			

——最近相談の多い
事例より——

給与所得者に対する定額減税における 年調減税事務について

Q 月次減税額の計算に含めた同一生計配偶者が、令和6年7月に就職し、令和6年分の合計所得金額が48万円超となる見込みです。その場合に、その配偶者は年調減税額の計算に含めますか。

また、令和6年7月に子どもが生まれ、令和6年12月31日時点では扶養親族になりますが、年調減税額の計算に含めますか。

A 月次減税額の計算に含めた同一生計配偶者又は扶養親族であっても、12月31日の現況で令和6年分の合計所得金額が48万円超となる場合には、その配偶者等については年調減税額の計算には含めないこと

とされています。

また、年の途中で出生した親族について、令和6年12月31日時点で扶養親族となるのであれば、月次減税額の計算に含めなかった人であっても、年末調整時までには扶養控除等申告書(住民税に関する事項)に記載することで年調減税額の計算に含めることになります。

なお、その子どもが他の給与所得者が提出する扶養控除等申告書(住民税に関する事項)において扶養親族として記載されている場合には、いずれかの給与所得者の定額減税額の計算に含めることとされています。

(注) 月次減税額と年調減税額との間に差額が生じる場合には、年末調整時に精算が行われることになります。

▶ 定額減税特設サイト

定額減税の制度の概要、減税事務について解説した動画(国税庁動画チャンネル)、パンフレット、様式など、国税庁が提供している定額減税に関する情報を入手・閲覧できます。

定額減税特設サイト



▶ 年末調整における定額減税事務の説明会

金沢税務署主催の説明会を金沢税務署会議室にて開催いたします。

日時/令和6年11月13日(水)・11月20日(水)

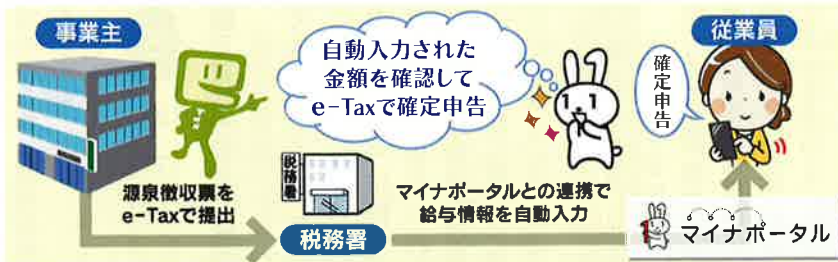
午前10時からと午後1時30分からの1日2回開催

金沢税務署からのお知らせ

給与所得の源泉徴収票を e-Taxで提出すると 従業員の方の確定申告がさらに簡単に!!

事業主の
皆さまへ

事業主の皆さまが給与所得の源泉徴収票をe-Taxで提出することで、従業員の方が所得税の確定申告書を作成する際、給与所得の源泉徴収票の情報が自動で入力されます。



※従業員の方が国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」からマイナンバーカードを利用してe-Taxで申告する際にご利用いただけます。

詳しい内容は、国税庁ホームページの特設ページをご覧ください。→



地域全体で
デジタル化を
進めよう

「いしかわ電子納税 推進プロジェクト」 立ち上げ

令和6年8月28日(水)、キャッシュレス納税の一層の普及を進める「いしかわ電子納税推進プロジェクト」の発足式が行われました。

発足式では、金沢法人会を含む石川県内の各種団体、地方税・国税の行政機関及び金融機関が一体となって、地域全体の電子納税の普及を通じて、自治体、金融機関及び地域全体のデジタル化を進め、生産性向上や業務効率化を目指す共同宣言が発表されました。

経済と中小企業の

活性化に資する税制改正を！

令和七年度税制改正要望(抜粋)

石川県法人会連合会では、役員・委員から頂いた税制改正に関する意見や要望アンケートの結果を基に、「令和七年度税制改正要望(案)」を取りまとめ、全法連に提出しました。

1 法人税

(1) 中小企業の活性化に資する税制措置
中小企業の活性化は、地域経済の発展や歳入確保の観点から非常に重要である。中小企業の活性化に資する税制措置として、①中小企業の法人税の軽減税率の適用範囲を拡大すること ②中小企業の法人税の軽減税率の特例を本則化すること ③社会保険料の負担増加に対する税額控除を創設することを求める。

また、中小企業の慢性的な人材不足の解消を図るため、雇用の拡大及び賃金の引上げを後押しする税制の拡充を強く求める。

(2) 役員給与税制の見直し

中小企業の経営状況は、経済動向のみならず役員健康状況等により大きな影響を受けることから、業績悪化については、客観的に明らかかな事情があるときは、

2 消費税

「事前確定届出給与」及び「定期同額給与」の改定事由の要件を緩和し、役員給与の損金算入を認めるよう改正すべきである。

(1) 軽減税率制度の廃止

消費税の軽減税率制度は、①消費税の逆進性の観点から低所得者層の税負担を軽減する効果が少ないこと ②軽減税率の対象範囲を合理的かつ公平に区分することが困難であり明確性に欠けること ③事業者の事務負担や経済的負担が大きいため問題点が多く、税務行政コストが増加する要因にもなっている。

簡素な税制、税負担の公平及び低所得者層の税負担の軽減を図るには、軽減税率制度を撤廃し、単一税率に戻すとともに低所得者に対する給付金付き税額控除制度を導入すべきである。

(2) インボイス制度の弾力的措置の拡充

適格請求書等保存方式(インボイス制度)について、免税事業者に対する弾力的な措置を、より一層拡充することを求める。

3 所得税

各種控除の見直し

所得税の人的控除は、税額控除によることとし、合理化・適正化を図る必要がある。特に、社会保険制度で手当てすべき医療費控除については、①高額療養には補てん金が支給されていること ②保険会社との契約者には給付金等が支払われていること ③ジェネリック医薬品を選択することにより医療費の負担が軽減されていることなどから見直すべきである。

4 贈与税・相続税

贈与税の基礎控除の引上げ等

高齢者からの生前贈与を促し経済の活性化に資するため、贈与税の基礎控除(百万円)の引き上げを求める。

また、経済の活性化に加え、老朽化した空き家対策の一つとして、相続税・贈与税

において、敷地の評価額から老朽化した家屋の取り壊し費用を控除する制度の創設を求める。

5 地方税

固定資産税評価額等の見直し

固定資産税の土地の評価額については、実勢価格と乖離しているものが多く、また、家屋の評価額については、減価償却後の残存価格と比較して高く評価されているものが見受けられる。

固定資産税評価額を算定する際には、①経済実態に即したものにすること ②評価基準及び算定基準を明確にして、「公平」かつ「中立」で、国民にわかりやすい「簡素」な制度に見直すことを求める。

併せて、事業用資産への課税の見直しを行うことや償却資産における「少額資産」の範囲を国税の中小企業に対する少額減価償却資産(三十万円)まで拡大することを求める。

セミナーオンデマンドサービスが
一層充実！ 会員は無料

インターネットで セミナー受講

一流の講師陣によるセミナーが500
タイトル以上！ 会員の方は、映像と音
声による本格的セミナーを無料で受
講いただけます。

1 金沢法人会
トップページの
「インターネット
セミナー」を
クリック

2 「インターネットセ
ミナー」トップページ
からログインページに
入って会員専用のIDと
パスワードを入力し
てください

金沢法人会専用
ログインページ

ログインID
hj2201

パスワード
2907

このID/パスワードで
ログインしてください。

社内研修や経営者の自己研鑽等に
ぜひご利用ください。

第三十九回通常総会を開催

元テスラ日本法人代表・吉田氏が特別講演

令和六年五月二十四日(金)ANAクラウンプラザホテル金沢にて、第三十九回通常総会が開催されました。

当日は総会に先立って、特別講演会が行われました。講師に元テスラ日本法人代表で現スターバックスコーヒージャパン本部長の吉田篤司氏を招き、「大企業の小さなイノベーション」をテーマに経営者が企業内でイノベーションを起こす方法についてご講演を頂きました。名だたる大企業で起こしてきたイノベーションの数々について、来場した法人会員の多くが熱心に耳を傾けていました。



特別講演会講師の吉田篤司氏。

引き続き行われた通常総会は、若松孝夫青年部会長の挨拶から始まりました。理事補充選任案の承認及び、令和五年度の事業報告及び同収支決算報告の後、租税教育、会員フォローアップ、健康経営、総務の各委員会事業について卒業の記念品を贈呈。来賓の金沢税務署長・本塚浩二氏、金沢法人会会長・鶴山庄市氏が祝辞を述べ、無事閉会となりました。



健康経営委員会で企画した朝ごはんレシピコンテストの表彰式も行われた。

挨拶を行う若松青年部会長。

4つの委員会の活動が報告された。



各種研修会 語り合おう

経営を学び、

第七回 内灘支部研修会

日時／令和六年四月十三日(金)
場所／和乃食はねや
◆テーマ講師
青年部会の「租税教室」を体験
青年部会員
徳本 真二氏



大人でも楽しく学びながら納税の意義を再確認できた。

青年部会 女性部会が 二十八校の小学校で 租税教室を実施!

金沢法人会が公益事業の大きな柱としている租税教育活動の一環として、毎年、小学校で租税教室を実施しています。今年度は五月から六月にかけて二十八校で授業を行い、児童千七百二十五人に税の大切さを学んでもらいました。

なお、租税教室の詳細は「令和六年度の社会貢献活動」として、来年四月発行の会報にて報告します。

第一回 実務研修会

日時／令和六年五月十三日(月)
場所／石川県地場産業振興センター
◆テーマ講師
ご存知ですか? 定額減税
金沢税務署 審理専門官 国税調査官



6月1日の制度開始を前に208社の担当者が受講。

六月定例研修会

日時／令和六年六月二十六日(水)
場所／石川県地場産業振興センター
◆テーマ講師
令和六年度の税制改正について
税理士 豊田 辰生氏



約100名の参加者に「令和六年度税制改正のあらまし」を配布。

税務研修会を開催

― 自律人材を育て、成長できる仕組みとは ―



これまで多くの企業を黒字化に導いてきた近藤氏。

令和六年三月十三日（水）、ハイアットセントリック金沢にて税務研修会が開催されました。

講師のGSブレインズグループ代表・近藤浩三氏は、一九九二年

の開業以降、税務会計業務にとどまらない幅広い活動を続けてきました。現在では、税務会計業務を基本として、財務やビジネスモデル、マーケティング、組織づくりなどの経営コンサルティング事業も行い、クライアントの八三％が黒字企業に成長しています。

講演のテーマは『人手不足が続く時代に、黒字継続企業が必ずやっていること』と『定着力を高め、自律人材を育て、成長できる「仕組み」と「成長の3ステップ」』です。

人手不足（離職増）の時代に取り組むべきステップとして近藤氏は、次のポイントを挙げられました。

- 一、生産性を向上させる。業務の仕組みを行うことで「余力」を生み出す。
- 二、付加価値（お客様から見た価値）を高める。
- 三、価値を収益へとつなぐ「収益力を上げる」。そのためには、値決め「適正価格」と「目標達成力」の二つの要素が重要。
- 四、収益を上げ、増やした利益を活かす。優先順位の高い成長投資は「人」である。

社員に対して求めるのではなく、言葉・態度・表情など経営者自らを変えていくことが大切であること。また、社員の話を聴く、質問をしてあげる、否定しない、説得しないなどコミュニケーションをとるうえで留意したい点についても話されました。



女性フォーラム広島大会に参加

― 平和を願う都市「ヒロシマ」に千七百名が集う ―

令和六年四月十八日（木）、第十八回法人会全国女性フォーラム広島大会が広島市の広島グリーンアリーナで開催され、全国各地より女性部会員千七百名が集いました。大会キャッチフレーズは「二〇二四 H I R O S H I M A 今、見つめなおそう！多島美の瀬戸・豊かな里山から」です。

第一部では、広島交響楽団桂冠指揮者でNHK交響楽団の正指揮者でもある下野竜也氏の「音楽・師との出会い」今、我々に求められること」と題した記念講演の後、広島ウインドオーケストラの演奏を披露して頂きました。

第二部の式典では、主催者挨拶、来賓祝辞と続き、活動報告では広島県内の女性部会による租税教育や社会貢献活動が映像にて紹介され、大会宣言の後、次回開催地である北海道連女連協に大会旗が引き継がれましが、また会場内には「税に関する絵はがきコンクール」の優秀作

また会場内には「税に関する絵はがきコンクール」の優秀作



記念講演講師は指揮者の下野竜也氏。



金沢からは細川部会長以下、11人が参加。

品が多数展示され、多くの会員が熱心に見学していました。

世界最初の被爆地、そして世界の恒久平和を願う都市「ヒロシマ」を感じた素晴らしい大会を終えた翌日は、江田島海上自衛隊第一術科学校を見学。戦争と自衛について考える貴重な機会になりました。

江田島海上自衛隊第一術科学校のレンガ廊下にて。



第二十九回 通常総会を開催

記念講演会講師は社会学者の上野千鶴子氏



挨拶を行う細川部会長。



講師の上野氏は金沢とも縁が深い。

令和六年五月二十一日(火)KKRホテル金沢にて、第二十九回通常総会を開催いたしました。来賓の方々の紹介に始まり、細川エリ子部会長の挨拶の後、村井専務理事より令和五年度事業報告及び同収支決算報告と令和六年度の事業計画及び同収支予算の報告がありました。

記念講演会講師は社会学者で東京大学名誉教授の上野千鶴子氏。女性学・ジェンダー研究の第一人者である上野氏は、二〇二四年、米タイム誌が発表した「世界で最も影響力がある百人」に宮崎駿映画監督とともに選ばれています(日本からは四人が選出)。

金沢二水高校から京都大学文学部哲学科へ進学、家族関係を考える中で自然と女性学・ジェンダー研究へと至ったとおっしゃる上野氏に、今回は「これからの時代を生きるあなたへ」と題



講師の上野千鶴子氏を囲んで。

してお話をして頂きました。

一九六〇年代までは、男性の結婚率が九七%で女性は九八%、当時は「結婚しないと一人前ではない」と言われました。それが現在では、男性の四人に一人、女性の三人に一人が「生涯非婚者」であり、女性が九十歳を過ぎて生きる率は五〇%以上です。それを踏まえて、これからの生き方を考えなくてはいけないのではないかとのお話でした。その後の懇親会では、上野先生を交えて参加された皆様方と楽しく交流を深めることができました。

研修会で香道を体験

雅やかで贅沢なひと時を過ごす

令和六年七月九日(火)、宇多須神社にて香道の体験会が行われました。奈良から(公財)お香の会理事長の山田法胤薬師寺長老ら五名ほか、金沢の講師もお見えになり、とても贅沢な体験会になりました。

祈祷で身を清めた後に広間にてお香の歴史を教えて頂き、お香は「嗅ぐ」のではなく「聞く」ということを学びました。今回は組香の一つ「源氏香」に挑戦。五個の香を順番に焚き、同じ香りのものを聞き分けて五本線の源氏香の図で表すのですが、これがとても難しく、香りの違いは分かっても五十四個ある表から対応する図を見つけ出すのに時間がかかりました。三十名近くの参加者のうち正解はわずか二人。すばらしい嗅覚を持つ方がいらっしゃいました。

聞き方のお手本を見せて頂く。

山田法胤薬師寺長老の挨拶。



香りを聞きながら色や情景を思い浮かべ、記憶する。イメージを司る右脳をフル回転させる、心地よく雅な体験となりました。

金沢税務署長に「税に関する絵はがきコンクール」への協力を依頼

女性部会では例年、「税に関する絵はがきコンクール」を開催しています。今年も実施するにあたり7月30日(火)、細川エリ子女性部会長らが金沢税務署を訪ねて酒井署長に協力を依頼。税務署の窓口等に置いて頂き多くの人の目に触れるよう、応募用紙を手渡しました。





ドアはいつもオープン 文化を翻訳してコミュニケーション

(有)どあノブ
金沢市此花町1-17
TEL 076-209-0669

取締役社長 小林 花代

● Profile

出身地 ● 東京都
業務内容 ● 映像制作、映像権利売買
座右の銘 ● “気付く”ことで何かが始まる

マルチメディア黎明期

有限会社どあノブは、二〇〇〇年に東京都で映像制作会社として設立されました。面白い社名ですが、「気軽にドアを開けて欲しい、私自身もいつもドアを開けていよう」という思いで名付けました。

大学を卒業し、バンクーバーで一年半を過ごした後、映像流通会社に十二年勤めました。当時はまだレンタルビデオ店が多く存在しており、村上龍氏の映画をはじめ、多くの映画に関わりました。また、毎年、世界三大映画マーケットに赴き、多くの映画の権利を購入しました。

二〇〇〇年に独立し会社設立後は、映像制作も手掛けるようになり、イッセー尾形さんのDVDを十四年間にわたり制作し、叶姉妹さんのイメージビデオ、幕張メッセで上映するマルチ画面インスタレーションなど、さまざまなプロジェクトを通して多くの知識を身につけることができました。時代と人脈に大きく助けられたことに感謝しています。この東京での活動時は、年に三〜五回の海外出張があり、お正月を日本で過ごすことは稀でした。

新天地で

二〇一一年の東日本大震災の直後、予定していた映画制作やイベントが全てキャンセルされ、業界全体が大打撃を受けました。それを受け、当時の夫の

故郷である金沢に会社を移転する決断をしました。東京との行き来をしながら、石川県を紹介する国交省のインバウンド向け映像を何本か制作しました。

また、駅ビルや温泉旅館のスタッフ向け英語教材を制作したことを機に英会話を教えることも始め、中高生、大学生、個人、企業など、多くの方々と一緒に学ぶ機会をいただいています。さらに、個人的には、仕事で培った英語力を活かすべく、金沢の英語ガイドもしています。居ながらにして世界の方とお会いできるのは素晴らしいことです。

ひとつ、お伝えしたいエピソードがあります。四年前にドイツからのご夫婦をガイドしていた時、ご主人から「もしかして、映像関係の仕事をしている？」と訊ねられました。私が作成した旅程が撮影現場で使うスケジュール表（業界では香盤表と言います）の形式だったからです。そのご主人は、ドイツの国営テレビ局のカメラマンでした。そして、二か月後、ドイツからメールが来ました。テレビ局のクルーが福島のアテンドして欲しいという内容でした。もちろん、私が東北や東京在住でないことは知っていましたが、私のキャラクターを気に入ってくれたそうです。早速Zoomでクルーと面接をし、一か月の準備および一か月のロケに同行しました。

コンテンツの流通方法は日々変化しています。たった五年前なら、CMは企



ドイツの撮影クルーと

業がテレビやウェブで流すものであり、映画はシネコンで観るものでした。しかし、昨今では誰でも映像を作成し、配信できるようになりました。反面、世の中に映像が溢れ、ビジネス効果が分かりづらくなっています。そんな状況だからこそ、プロの的確なマーケティング分析とテクニックが結果を大きく左右します。

そこで、二〇二二年にはデジタルコンテンツの制作と運用に特化した別会社を東京で設立し、ビジネスのグローバル化を実現しています。



英語ガイド予約サイト

願いや祈りを内に秘める美しいコミュニケーションの形です

加賀獅子頭

魔を寄せ付けけない八方睨みの迫力

秋も深まる頃になると、遠くから、近から祭囃子が聞こえ、獅子舞の棒振りの「エイ！ヤーツ！！」という声が響いてきます。豪華で大きな獅子頭に囃し方がすつぽり入るほど大きな蚊帳を付き従えた獅子、対する棒振りには武術の技を取り入れた演技で獅子に立ち向かい、最後に討ち取るのが金沢の獅子舞の特徴です。

その由来は天正十一年（一五八三年）、加賀藩の藩祖・前田利家が金沢城に入

城する際に民衆が演じた歓迎の獅子舞

とされ、それ以降、代々の藩主がお祭りという形で、民に武術を伝えるために獅子舞を奨励し、盛んになっていったと言われています。木製とはいえ、棒や刀、薙刀を扱う所作を覚える必要があり、かつてはお祭りの直前に道場に弟子入りして学ぶこともあったとか。

金沢の獅子頭には角があり、多くは桐の白木で作られています。どの方向から見ても目が合う八方睨みの目は眼光

も鋭く、江戸時代には加賀藩の細工所の彫刻師や仏師などが制作にあたりました。金沢市内や近郊には今も、名工の手になる獅子頭を町の守護として大切に保存している町会が多くあります。

また獅子頭は家を守る縁起の良い置き物としても親しまれてきました。「獅子頭」が「出世頭」に通じることから、子どもが生まれると魔除け厄払いの守り神として飾られることも。万物を一声で威服し、災難を食い止めたときされる獅子。その威厳とともに、どこかユーモラスな表情が魅力のパワーアイテムです。



置き物の獅子頭。本物の獅子頭のように眼光鋭く、刀をくわえているものが多い。

かつては獅子舞ごっこにも

男子の誕生の際に飾られた獅子頭の置き物。本物と同じように桐で作られ、口が大きく開くようになっています。かつては子どもたちが獅子舞の真似をして遊んだといいますが、大正15年の北國新聞によればすでに遊ぶ子どもではなく、東京・大阪の玩具愛好家に人気だったとか。



玩具とはいえ、口を開け閉めできるようになってい

探してみませんか

金沢駅に獅子頭 発見!



北陸新幹線の待合室の壁一面にあいた236個の丸い穴に、石川の伝統工芸品がおさめられています。「百工の間」と名付けられたこの部屋で、加賀獅子頭も睨みをきかせています。

そしてもう一つは、加賀人形をモチーフに制作され、1954年の駅舎完成から金沢駅の変遷を見守ってきた「郵太郎人形」。公式プロフィール(?)によると彼の趣味は獅子舞だそうで、手には獅子頭を持っています。



【協力・写真提供】
金沢くらの博物館
石川県観光連盟
加賀獅子保存協会

金沢の獅子舞は「加賀獅子」と呼ばれ、巨大な獅子頭と胴体の蚊帳から成ります。加賀獅子は昭和四十年に金沢市の無形民俗文化財に指定され、春や秋の祭りはもちろん、百万石まつりでも披露されています。



表紙解説

加賀獅子



大同生命大阪本社ビル(大阪市西区江戸堀)
～加島屋が店を構えた地に建つ～

大同生命は1902(明治35)年に創業しました。
中小企業経営者のもしものときの力になりたい。
創業者の一人である広岡浅子が生命保険事業に託した
「社会の救済」と「人々の生活の安定」という想いは、
いまでも大同生命に受け継がれています。



広岡浅子(1849-1919)
～大同生命の創業者の一人～



大同生命の礎を築いた
大坂の豪商「加島屋」



旧肥後橋本社ビル
(設計:W・M・ヴォーリス)

その安心で、企業とともに未来をつくる。

DAIDO 大同生命保険株式会社

金沢支社/石川県金沢市南町4番60号(金沢大同生命ビル9F)
TEL 076-231-1195

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ



研修会・講演会のご案内

「税を考える週間」協賛
特別講演会

令和六年分
年末調整説明会

日時/令和六年十一月十三日(水)
十三時二十分～
場所/石川県地場産業振興センター
本館 大ホール

日時/令和六年十一月六日(水)

【午前の部】

十時～十二時

【午後の部】

十三時三十分～十五時三十分

●第一部 十三時二十分～
講師/金沢税務署長 酒井義久氏
演題/税のよもやまばなし

場所/石川県地場産業振興センター
講師/金沢税務署・金沢市役所 担当者

●第二部 十四時～
講師/日本文学研究者、早稲田大学特命
教授 ロバートキャンベル氏

※会員の方には別途FAX・メールでご案内
します。

演題/壊れたものが遠くへゆかないよ
うに、災害における文化の再生と
継承について

講演会当日は、女性部会が社会貢献活
動の一環として取り組んでいる「タオ
ル・石鹸持ち寄り運動」を実施いたし
ますので、事業所、ご家庭に手持ちさ
れているタオルや石鹸に余裕がござ
いましたら、会場受付へお持ちくださ
いますようお願いいたします。



ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時
代の文学。特に江戸中期から明治の漢文学・
芸術・思想などに関する研究を行う。
主な編著に『戦争語彙集』(岩波書店)、『よ
むつわ』(淡交社)、『井上陽水英訳詞集』講
談社、『東京百年物語』(岩波文庫)、『日本古
典と感染症』(角川ソフィア文庫)等がある。

ほうじん金沢 第235号
令和6年10月20日発行

◆ 発行所

〒920-0919
金沢市南町4番60号(大同生命ビル8階)
電話076-222-2907/222-2910

公益社団法人 金沢法人会

◆ 編集発行人 村井 啓祐

◆ 印刷所 ヨシダ印刷(株)